

議会活性化 特別委員会会議録

令和 7 年 8 月 20 日(水)午前 9 時 57 分
小美玉市役所 3 階 議会委員会室

小 美 玉 市 議 会

議会活性化特別委員会

日 時：令和7年8月20日（水）

午前10時から

場 所：3F 議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協議事項

- 1) 議会報告会（意見交換会）について
- 2) その他

4 閉 会

出席議員（10名）

1番 鬼田岳哉君	2番 宮内勇二君
3番 戸田大我君	4番 内田和彦君
5番 山崎晴生君	6番 真家功君（副委員長）
7番 香取憲一君	10番 鈴木俊一君
11番 村田春樹君（委員長）	13番 谷仲和雄君
14番 長島幸男君（議長）	

欠席議員（なし）



議会事務局職員出席者

局長	佐川光
次長	須賀田千恵子

午前 9 時 57 分 開会

◎開議の宣告

○副委員長（真家 功君） それでは改めまして、皆さまおはようございます。

定刻より 3 分ぐらい早いですけど皆さんお揃いですので、ただいまから議会活性化特別委員会を開会いたします。

まず、村田委員長挨拶をお願いします。

○委員長（村田春樹君） 皆さん改めまして、おはようございます。

7月5日に行われました、意見会の際には、皆さま大変お世話になりましたありがとうございます。

また、委員の皆さん以外にも様々な他の議員さんの方々にも手伝いいただき、素晴らしい意見交換会ができたこと心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

本日は、意見交換会の報告書案についての議題となっておりますので、皆さん方のいろんな知恵を借りながら素晴らしい報告書をつくれればと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。簡単ではございますけれども挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

○副委員長（真家 功君） ありがとうございました。それでは、議事に入ります。

協議の進行については村田委員長よろしくお願ひします。



◎協議事項

1. 議会報告会（意見交換会）について

○委員長（村田春樹君） 本日の関係資料につきましては、スマートディスカッションに保存されていますので、準備のほうよろしくお願ひします。

まず、議事に入る前に、今回子どもの風邪が移ってしまいまして咳が出るのでマスクを着用してとなりますので、お聞き苦しいところはあると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項、議会報告会（意見交換会）についてを議題といたします。

まず、04の報告書（案）のほうを見ていただければと思います。

表紙のほうは、このように全員で撮った写真となっております。

次のページ 1 ページが目次となっております。

さらに次のページ開催概要としてあります。

1 開催目的、2 実施方法、3 開催日時、4 開催場所、5 テーマ、6 スケジュール、7 参加者となっております。参加者のほうは一般参加者が 18 名、議員が 16 名ということでありました。次のページに移ります。

市民の意見のまとめとして、参加者の方におみたまの子育てについてどう思うのテーマで 6 つのテーブルのうち好きなテーブルを 3 つ選んで意見交換をしていただき、書いていただいた付箋は 157 枚となりました。

2、各テーブルの意見でございます。

まず最初に A の出会い、その下に写真となっていて、次のページには B のテーブル、妊娠・出産、その下にはしっかりと写真を載せております。

次に C 就学前のテーブルでございます。

次のページが D の小学校、次のページは E の中学校、次は F の高校生・大学生ということであります。

その下（3）意見交換会を終えてということなんですけれども、例として議会活性化特別委員会での振り返りを記載する。対話によって感じたことであったり、議会内での方向性など、もしくは例の 2 として今後についての記載。参加者の皆さまからいただいたご意見や、アイデア等について市政の推進に活用させていただきますなど、そういった文言を入れるとか、あと報告書、ご意見を議長から市長に送付するなど、そういった文言を入れようかと考えておりますけれども、取り敢えずそのような形で皆さん何かご意見があればいただきたいなと思っております。

次のページに移りますけれども、参加者のアンケート結果についてということで、アンケートの集計結果、Q1、開催の日時等はいかがですかということで、大変良いと良いが目立つような結果となったのが大変嬉しく思います。

次に Q2、開催の会場はいかがですかと、大変良い、良い、普通ということで、とてもいい結果が出たのかなと思っております。

すみません Q3 でしたね。充実した意見交換ができましたかということで、できたと答えてくれた人が大変多くいらっしゃいました。

Q4 最も印象に残ったことありますかということで、17 件の回答がありました。これもしっかりと皆さん目を通していただければというふうに思います。

次に Q5 意見交換会を何で知りましたかということで、口込みであったり、ホームページ、その他ということで、いろんな方からご協力いただきて人を集めていただけたのかなと思っております。

Q6 として今後どのようなテーマで意見交換を開催してほしいですかということで、8件の回答がございました。このようなことで、アンケート結果についても報告書の一部として掲載できればと考えております。皆さま今のところで何かご質問であったりご意見、このようしたほうがいいんじゃないかというものがありましたら手をあげて言っていただければと思います。お願ひします。

8ページの（3）の意見交換会を経てというところで、例をあげさせていただいているんですけれども、例えば特別委員会の振り返りを記載した上で今後についての記載をするような流れで報告書のほう委員長と副委員長で考えさせていただいて、ここの部分仕上げるという形でもよろしいでしょうか、大丈夫ですかね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） この意見交換会をこうやって今終えてという部分で、ここのところをもう少し具体的にどうするかというのをハッキリここで決めておいたほうがいいかなと。あくまでもいろいろな人から聞いた話をまず議会で聞いて、今度ある程度我々としても裏付けを取る必要があるのかと。聞きっぱなしではなくて、こういう問題があるんですけどと聞いた上でそれを今度執行部のほうにこういうことに対してなぜそうなっているのかとか、それを聞くことによって今度それを聞かれた方に対して今こういう状況だからこういうふうになっていますという説明ができるというところもあります。あくまでも聞いた話をそのまま全部が全部鵜呑みにするのではなくて、しっかり裏付けをとった形でその上で改善すべき点があれば議会として報告書としてあがれるのかとか、そういうプロセスがここ意見交換を終えてというところが具体性に欠けているところがあるんで、ここのところしっかりしたほうがいいのかとそういうふうに思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

しっかり具体性について、今回ワールドカフェ方式ということで、最初にワールドカフェ方式についてのものをやる際に、具体的な具体性、回答何て言うんですかね、成果を求めないものというふうな形であったんですけども、そこら辺は市民の皆さまからいただいたいろいろなご意見の中で、先ほど谷仲委員が言っていただいたように、裏付けをとったうえでこれは絶対聞かなければいけないというところはいっぱいあると思うので、そこはしっかり執行部に答える

を求めるような形をとっていきたいというふうに考えております。そのような流れで意見交換会を終えての部分については、しっかりと皆さまのご意見について執行部に回答を求めてホームページや、議会広報紙など、そういったところを活用しながら、参加していただいた市民の皆さまの回答、答えを出せればというふうに思うのですけれどもどうですか。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 堅苦しくこうでなければいけないというようなやり取りにも今聞き取れたんですけど、あくまでもこういう話、意見交換会で出たんですけど現状どうなんですかとか、こういうふうになっている理由はどうなんですかと。そのところの裏付けというところがある程度あった上での議会としての報告書。この報告書だと報告会やりましたでだいたいそれで終わっているのか。その報告会終わったあと議会としてどうするのかとその部分が浅いかなというそこなんですよ。どういうふうにやっていったらいいかというのは、皆さんに意見もらうといいと思います。委員長だけ一人でこうじゃなくて。そういう形であくまでもワールドカフェでなんでも思ったことを聞いた上で我々がその議会として行動に移すというときにはどういうスタンスで行くのか、そういうのも終わったあと大事だと思います。皆さんに意見求めたらいいと思いますよ。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。そしたら一人ずつ今回の意見交換会についてを振り返りながら意見を出していただければなと思いますので、よろしくお願ひいたします。

鬼田議員からよろしくお願いします。

○1番（鬼田岳哉君） ありがとうございました。事務局に確認したいのは、この報告書というのはまずやりましたよという概要を外向けに出すという理解ですかね。

○委員長（村田春樹君） 須賀田議会事務局次長。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） こちらは意見交換をやりまして、終わったというこの報告書で、以前やっていた議会報告会のときの報告書は各常任委員会とか特別委員会のほうから報告書がありまして、もらった意見各常任委員会で協議していただいたことがあります。今回は、テーマのほうが子育てということなので、だいたいの意見は常任委員会としては文教福祉の意見のほうが多くなってしまう形になってしまふと思うので、例えば、出会いとかでしたら魅力発信課ということで総務常任委員会、あと通学路とかでしたら教育委員会と産業建設というふうに少しあるんですが、ほとんどのご意見は文教福祉になってしまふので、たくさんいただいたご意見を1つ1つ文教福祉にお願いするというのはどうなのかなと、わたしとし

てもこのテーマを決めたのは議会全体で決めていませんし、活性化のほうで決めさせていただいてこちらを実施したので、大まかなものを拾ってそれに対して方向付けというか、結果の報告を記載したほうがよろしいかをそちらを協議していただければなと思います。

○委員長（村田春樹君）　鬼田委員。

○1番（鬼田岳弥君）　今まで承知しました。わたし個人としては1回目取り敢えず時間経つのもよくないので、この報告書をすっとあげて二段階ロケットで次の段回で常任委員会通すのか我々でやるのか、何かしらの答えを市民に対して渡したほうがいいのではないかと思っております。

以上です。

○委員長（村田春樹君）　意見交換会の振り返りみたいな感じ。

○1番（鬼田岳弥君）　これはこれでいいと思います。次の段階で市民に対して何か出せればいいんじゃないかという感じです。

○委員長（村田春樹君）　次に、宮内議員お願いします。

○2番（宮内勇二君）　意見交換会お疲れさまでした。委員会と重ねて最初は大丈夫かなとか無事に出来るのかなという不安はあったんですけど、しっかり結果としてまとまって、このアンケート結果にもあるように非常にいい回答が多かったので、非常にやってよかったなというのが率直な意見です。この報告書に関しては今回意見を出してただいたので、各常任委員会でもむといいよりは報告書としてまとめて議長から市長に提出するという形が一番いいのかなと思っています。

以上です。

○委員長（村田春樹君）　次に、戸田委員お願いします。

○3番（戸田大我君）　お疲れさまでした。わたしは、この事務局の方がつくってくださったんですかね報告書（案）を。これはこれでいいと思うのですが、市長のほうにもし今宮内委員がおっしゃったように提出するのであれば、委員会としての意見を付けて出すぐらいでいいのかなと。そんなに時間かけないで出すということで鬼田議員が言ったように二段構えで市民のほうに返していくということでいいのかなと思うのですが、わたしとしてはいろんな具体的なこれはどうするんだというのがもう目の前にあるので、次に取りかかったほうがいいのかなと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君）　次に、内田委員お願いします。

○4番（内田和彦君） お疲れさまです。振り返りとしていろいろ長い間打ち合わせがあつて最初はまとまるかなというのがありました、実際ワールドカフェ方式ということで話を進めていく中で、最終的に人数も 18 名市民の方集まってくれたということですけども、まだまだわたしとすればもう少し人を集めの段階で時間がなかった、余裕がなかったというのが、チラシなども時間がかかったような、そういうところまできちつとどうしても市民相手のことなので、しっかりまたもう少し決心というかその辺のところの力を入れていければなと。報告に関しては今皆さんのお見のとおり、項目というかいろいろ範囲が広くなっちゃって最終的には市民の方にその辺のところをしっかり回答していく所はあります、内輪でしっかりとできることをまとめてやつていけばなと思います。

○委員長（村田春樹君） 次に、山崎委員お願いします。

○5番（山崎晴生君） お疲れさまでした。全体的にはよくまとまった意見交換に皆さんで協力しあって成功できたのかというような感じがしますし、内田議員が言ったようにもう少し参加者がもっと多いと様々な意見が出たのかと思いますので、運営の中の細かい今回こうしておいたほうがいいなというところもしっかりとまとめて次に開催するときには滞りなく進めるように、そういう運営する面のところもまとめておいたほうがいいかなと思いますし、各テーブルの意見がすごくまとまって出てきていると思いますので、多分自分が参加したらこれいっぱい意見出したけど議員さんから聞いたけどもこれ市としてどう考えているのかなとか、担当所管があるので、そこにこれを見てもらって所管としてどういうふうにそれを捉えているのかとか、感じているのかというのが何かあると市民も行って市はこういうことを考えていてこういうこと計画しているんだなとか何か行って無駄じゃなかつたじゃないですけども、市も取り組んでくれているんだなとか、これからこういうことしてくれそうだなというのが分かるような仕掛けがあると外に発信するときにはすごくいいと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） 次に、香取委員お願いします。

○7番（香取憲一君） 同じく意見交換会のほうお疲れさまでございました。わたしのほうからは、報告書はすごくよくできているなど第一印象は。事務局任せにして大変恐縮だったんですが、これから先のことを考えるについて大きく 2 つに分けたほうがいいと思うんですね。1 つは山崎議員とか皆さんご意見いただきましたけど、ここに至るまでも含めて、それから当日のもうちょっと人を集めの時間が欲しかったということも含めてこのワールドカフェ方式で開催したということ自体イベントを企画運営すること自体についてどういうふうだったかとい

うことをまずいろんなところをもう少し人を集めるためにこうしたほうがいいとか、次またやるのであればそういった方向性も含めてそれでひとつそれはそれでまとめて、もう1つの大きなやつは議会として今後の執行部なりにどういう形で提言していくということは、少しクリアに分けて段階を踏んでさっき鬼田議員もおっしゃってましたけども、そういうふうにしていったほうが我々自体も非常に分かり易く次に向けてできるのではないかとわたしは思ったんですけども。そんなとこですね。

○委員長（村田春樹君） 次に、鈴木委員お願いします。

○10番（鈴木俊一君） 総論的に良くできたと思っています。各論で色々提案したり反省すべき点はあると思いますが、総論的に良くできたと思っています。さっき山崎議員が言った人数と人集めが今度の課題かなと思っています。人数多くて参加者のさっきのアンケートを見てもチラシを見てきた人が少なかったので、今度の集め方。大規模でやるとしたら他にもあつたんですけど、石岡JCのときに、石岡市民トーク会をやったときなんかはランダムに集めていろんな層の年代だったりいろんな人の意見聞けるので、これからそういう方法も考えられるかなと思っているので。あと学校のほうの予定2月くらいには次の年度の予定を決めちゃうと思うので、来年度実施に向けてだったら今から準備していって、来年度の学校を通して人集めするんだったら、さっき誰かのアンケートでも学校からと書いてあったと思うので、学校から頼まれたというのと、チラシを見て行くというのだったらチラシよりも学校から頼まれたほうが来てくれる確率高いと思うんです。そういうのを2月ぐらいまでに段取りしておいて7月ぐらいにあるので、次の役員さんはこれに出席してくださいみたいな段取りをしておくと人集めももっとできるかなと思いました。

以上です。

○委員長（村田春樹君） 次に、谷仲委員お願いします。

○13番（谷仲和雄君） 今皆さんのお見を聞くと、2段階に分けて報告をしましょうと。あくまでも1段階目はホームページとかに掲載するのであれば報告ですよ。次に2段階目の報告書という形で今度は今詰めていく中で、いつまでに期限を区切るかとか、そこら辺はあまり間をおかないような形で、例えばワールドカフェ年何回とかというスタンスで今後皆さんの話し合いで年何回やっていくというのがある程度固まれば、次の意見交換までには報告書というのは必要になってくるのかと。そういうスケジュール間が必要かなと思います。

あとは今回わたくしなんかは鬼田議員と中学校のところいろいろお話を伺って、市民の皆さんから質問に対して実際はどうかというのを次例ええば街中で見えた方と会うかもしれない。その

あとどうですかと聞かれたときに、ある程度きっちりとしたお話ができるような準備とかは色々しなければいけないかなと思っています。今回ワールドカフェ方式この形式が一番色々なお話を聞けるかなと思うので、これは今後も年2回とか年3回とかそちら辺のペースで運営回るようであれば色々なそういう機会が増えていくかなと、これはいいと思います。正副委員長お疲れさまでした。

○委員長（村田春樹君） 次に、真家副委員お願ひします。

○副委員長（真家 功君） 皆さまのおかげ様で良くできたかなと感じました。やはり今鈴木委員とか谷仲委員が言われたように課題もありますね。その辺が今後調整が必要かなと感じました。今回は皆さんからいろんな意見が出ていることですね。この報告書についてはこのようにやったという内容が入っているということなので、大事だと思うので、報告書はこれがいいのかなと感じました。今後市のほうに今回の意見交換の内容を提案とか色々していくときは冒頭に事務局が言ったように、最初からテーマがこういうふうに決まったので、今回は活性化委員会がまとめて議長名で報告書を出すような方法をとっていきたいと思います。内容については今後早い段回でまとめて皆さんにお示しできればいいのかなと思います。再度皆さんで検討したいと思います。よろしくお願ひします。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。皆さんのお見聞いて、いろんな課題が山積みだとは思うのですけども、それをひとつひとつクリアしていくことが次の意見交換会に繋がると思いますので、そういったところも皆さんと一緒に協議しながらやっていきたいと思っております。

それでは、執行部のほうに投げる際なんですけれども、例えば3ページのほう見ていただければと思うのですけれども、小美玉の出会いに不足しているところであったり、アイデア他となるんですけども、全部が全部聞いていったらきりがないような、あとはもしくは難しいところもあると思いますので、抽出しながらまとめていくのも大事だというところで、執行部のほうに話をもっていかれるとと思うのですけれども、9月議会の初日のほうには報告書のほうが間に合わないような気もするので、最終日に議運と全協と報告をさせていただいて、その上でホームページに掲載するなどして、あとは広報特別委員会とも連携をとりながら、広報紙のほうに掲載していただくなどそういうことでやっていきたいと考えておりますけどどうでしょうか。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） さっきの皆さんのお見踏まえれば、もうこの内容で誤字脱字チエ

ツクした上で、意見交換会を終えてという（3）の部分、ここを若干聞いた話を踏まえて修正すればもうこれで最初の議運で報告ですとあげちゃってもいいと思いますよ。第2段階というのは今後副委員長がおっしゃられたようにこの委員会で。例えばパートパートの議員さんこの委員会に入ってますよね。その議員さんのほうである程度論点とか、こういうふうに変えたのけど執行部実際どうなのとやり取りした上で、執行部の説明を聞いた上で今これはどうしてもこういう状況なんだというのが分かればそういうのを、それはきちんと説明できるようにしたほうがいい。あとそれを聞いた上でここはこういう提案したほうがいいんじゃないかというのであればそういう提案という形でも。まずはその担当パートパートの議員さんで所管の必要なところ、政務調査ではないですけれどもやっていただければいいのかなと。それを踏まえて次の議会活性化特別委員会までにそれをやっていただいた上で持ち寄ってそこから話を進める。そういうところかなと思いますやっていくやり方としては、これはわたしの案です。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。素晴らしい案だと思います。

今の案でそれぞれのパートで皆さま活性化委員さんが入っていらっしゃいますので、執行部のほうに再度確認していただきながら、次の特別委員会のときにその話を持ち寄っていただいだり、さらに深くやっていければなと思うんですけども、どうでしょうか。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） さっきもうお話しましたけども、ワールドカフェというところの意見交換なんで、こここのいただいた意見というのはしっかり尊重した上、尊重するというところここが大事なところになるのかと思います。それを踏まえた上のいろいろなプラスですね。あくまでもいただいた意見をベースに、もとにということはしっかり各パートで踏まえていただけだと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。それではそのように進められればと思いますので、皆さまよろしくお願ひいたします。

次の9月定例中に迅速に報告のほうあげていくとなると、9月定例中に特別委員会のほうをもう一度開催して、そこで各パート皆さま方お忙しいでしょうけれども、執行部の方々に確認をしていただきまとめていくということになると思うのですが、日にちとしては短いですけど大丈夫ですかね。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） そのスケジュール間としては、次の9月定例の委員会のときに、

まずは各パートのあれを持ち寄ってそれからどうまとめていくかとか、どう報告書をつくるかという話だから、多分9月ではそれは出ないと思う報告書のところ。ただ報告のほうはさつき1段と2段に分けるというから、報告のほうは今できている内容を見て誤字脱字、(3)のところ今の話を踏まえて修正をすれば、例えば第1段の報告としてはその内容でOKですよねという話。実際今度いろいろな皆さんからの意見を聞いてどう行政に反映していくのかとか、そういうところの報告書というのは、まず9月の定例で1回持ち寄ってみて、色々どういう状況かというのを見ながら委員会で報告書のつくり方とか、どういうふうにつくっていくかとか、9月の定例で集めてすぐ報告書というのはできないから、例えば10月、11月そこら辺までに報告書というものをつくって執行部に提出するとか、こういう報告書ですとあげれるように。あくまでも9月の定例会の活性化の委員会では、まずは各パートごとの資料として持ち寄るというところまで、それを踏まえて9月の特別委員会で議論を進めたらどうでしょうかというその話です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。山崎委員。

○5番（山崎晴生君） 谷仲議員の執行部のほうの意見というところを持ち寄っていようと担当所管の意見を持ち寄るというところ非常にいいと思うんですけども、多分9月議会に聞きに行って担当所管の部署にも迷惑かなと思うので、各テーブルに議員1人1人いますけど、聞くことはバラバラになっちゃうと思うんですよね。これは絶対持ち寄って、ここの班はここしか聞いていないなとかあると思うので、そういうことを全体的な所管を聞くのか、このアイデアとか意見に関してどういうふうに担当所管の部署はどう思っているのかというところの、例えば文章的なところを投げてそれをもとに議員がお話してくるとか、時間的にも短縮できるかなと。ただしやべってくると向こうも負担だと思うので、ちゃんと論点はここでということで短時間で。むしろ担当所管から全部あげてもらってそれを補正させてこれもうちょっと聞きたいなということがあれば担当の人に聞きに行くとかというところでやっていただいたほうがなんとなくいいかなという意見です。

○委員長（村田春樹君） 須賀田議会事務局次長。

○議会事務局次長（須賀田千恵子君） そうすると、こちらの意見を事務局側から意見の部署に文章で回答するというのを投げてという形ですかね。

○委員長（村田春樹君） 投げてもらって回答もらって次の委員会のときに皆さんと回答について見てという感じ。

山崎委員。

○5番（山崎晴生君） それはわたしの一意見なので、皆さんに担当所管に行ってちゃんと話てきたほうがいいと言うのならそれはそれでいいと思います。

○委員長（村田春樹君） 谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） この報告書の高校生・大学生のところで、例えば1だと防犯灯を追加してほしい、駅周辺の整備、交流センター、このほぼ単語ですよね。多分これを執行部に投げたところで執行部のほうで余計答えるのが難しいと思うので、であればそのパートに貼りついていた議員さんがある程度話の内容は分かっているんで、この単語のほうをある程度文章にする形での執行部の担当のほうとかと、ある程度これをベースに文章をつくってやり取りをしたほうが、答えるほうも目的を獲た答えが。これ最近質疑通告書という形で予算とか決算の特別委員会、文章でそのまま出して何の、こういう趣旨でというやり取りないと、全然聞いていることと検討違いの回答がきてまた最初からやり直しになるのがあるので、仰々しい形ではないにしても、ある程度は時間執行部のほうにもこういう内容でと聞くことはある程度パートごとでまとめて聞きに行かないといそな場で論点だけ聞きにいっても時間ばっかりかかっちゃうので、ある程度まとめてこの内容でどうですかという聞き方で、実際言葉のやり取りのほうが、意思疎通は諂れると思うのですが。このままペーパーで回答を求めるといって多分聞いているのそういうことじやないんだよなという回答が戻ってくるケースが多々あるかと思うので、そこら辺を踏まえてどういうふうにするかというのを決めてもらえるかです。

○委員長（村田春樹君） 山崎委員。

○5番（山崎晴生君） おっしゃる通りだと思いますが、この意見を聞くというのは市民に対して参加して議会のほうはどうしてくれたのかなというその結果が大事だと思うんですよ。話しちゃなしかって、市はどう考えているんだろうというところで、多分検討していますとか、このアイデアを今後取り入れるために誠意努力してまいりますとか、そういう答えしか帰ってこないと思うんです。議員が行ってこの計画ここまで詰めているけどもこの先どうなんだみたいなところまで詰めて、そこまで逆に市民に言っていいのかというところもあると思うし、そういうふうな内々では決まっているんですけど、これは今は出せないですよというようなこともあると思うので、結果ちゃんと行政の執行部側は今現段階ではこういう状況だということがわかるのが大事かなと。内容云々という感じではない気がするんです。勿論執行部に行って色々話するけども、いいとは思うんですけど、谷仲議員おっしゃるとおりそれはそうだと思うんですけど、正直9月の議会のタイトさで皆さん仕事を持ちながらやっているので、それは議員としてやらなきゃいけないことかもしれないんですけど、もうちょっと時間をもらえればで

きるのかもしれないけど、9月ではなかなか難しい。やるとしたら執行部に投げてもらって返答をもらうということをして欲しいと感じはします。

○委員長（村田春樹君） 香取委員。

○7番（香取憲一君） 実際に今山崎議員がおっしゃった、色々細かい内容があって、具体的に理想としては政策の実現に繋がっていくことじゃないですか。なので、この活性化委員会としては実際に市民の皆さん、他の議員さんも勿論入っていただいて、議会全体としてしたことだと思うので、一度執行部に何かしらでこういう市民の意見だと投げるにしても、議運、全協に勿論報告もあげるので、執行部に対する市民の皆さんからのダイレクトな市民の皆さんのこういうことが出たので、後々活性化委員会のメンバーが中心となってこういうことをヒアリングしますよということは、議長名なりなんなり議会から正式に議会全体として議長名かなんかでよろしく頼むよという形かどうかわからないけど、そういう形で議会全体として執行部におろしてもらうという形を取ったほうが、活性化委員会から云々ということで漠然と執行部に投げてもなかなか形として整わないと思うので、そのほうがいいんじゃないかというふうに思いますね。他の議員さん全員にも共有するという意味でもです。わたしはそのほうがいいと思います。

○委員長（村田春樹君） あとは、テーブルごとの意見を見ていて山崎委員がおっしゃることもすごくわかりますし、谷仲委員の言っていることもすごくわかるんですけども、例えばテーブルごとで箇条書きみたいになっていないでいろんな執行部のほうに投げてもわかり易いような形でできているようなテーブルについては、山崎委員みたいなやり方でもいいのかなと。各パートごと市民の皆さんのお見立て聞いていると思うので、そこをまとめるにしても山崎委員の方法でやるにしても検討違いの回答が返ってきてしますので、議長のほうで一言こういったことで聞きに来るよみたいな感じで、ちゃんと答えてやってくれよみたいな感じで言つていただければいい回答が得られるのかなと思いますので香取委員ありがとうございます。それで9月定例会中って考えていたんですけども時間も足りないですし、決算の時期もありますので、報告としては早急にあげたいと思いますので、誤字脱字ないのか委員の皆さんに確認してもらって9月議会のはじめのときに、議運と全協のほうに報告させていただいて、報告としてあげたいと思っておりますので、それまでに目を通してください誤字脱字ないのか見ていただければと思います。報告書のほうに関しましては9月だとさすがに難しいのかなというところもありますので、10月に各常任委員会でもいろんな視察研修であったりとかそういったところもあると思いますので、そこと被らない日程で組みたいと思いますので、9月の議

会初日までには詳しい日程のほうを決めさせていただいて、皆さま方にお示しできればと思いますので、そういう形で大丈夫ですかね。

[「はい」の声あり]

○委員長（村田春樹君） それでは意見交換会については、これでよろしいですか。



2. その他

○委員長（村田春樹君） 次に、その他に移ります。

皆さんから何かございましたらお願ひします。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） その他というところの発言で捉えるかですけど、意見交換会は年1回だと勿体ないかなと。複数回ある程度会期の区切りのところで複数回やっていくのが継続していくと形というのができてくると思います。そこら辺は検討いただければと思います。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。やはり市民の方からも、このようなワールドカフェ方式での意見交換会についてということで、せっかくだから2回も3回もやってもらいたいと、参加したいと言ってくれた方もいらっしゃいました。そういった中で、やるならば友達とかいっぱい呼んでくるよ、PTAの方にもどんどん声かけていくよという話もありましたので、是非こういった意見交換今までできていなかった部分だと思いますので、年1回では勿体ないという先程谷仲議員の言葉もありましたように、2回、3回できるような体制づくりを皆さま方と一緒に考えながら、議会の活性化を進めていかなければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

戸田委員。

○3番（戸田大我君） 年に数回やるというのは活性化とかいいと思うんですけど、まず年に1回は必ずやるということはちゃんと準備してやるということが大切だと思うんですね。それから広報委員会のほうでも各市民の意見とかを取り入れたりとか、広報紙に入れようとしている計画もあるので、こういった全体的な意見交換会プラス個別に議員さんが市民にあたっていくという活動があるので、いろんなことを進めていくなかで全部やっていくとなると、我々議員の、勿論議員活動としては大切なことだと思いますが、あとは事務局の負担とか、準備とかあると思うので、1回1回意見交換会であがってきた報告書は事務局がつくったりとか準備したりすると思うんですね。そういうことも踏まえながら、議員さんたちは自分たちで報告書まとめていくということになればそれはそれでいいのかもしれませんけど、事務局とかそ

といったバランスを考えながらやるのがいいかなとわたしは思います。それから広報委員会のほうも同時並行で進んでいることもありますので、そういった全体的なことを見ながらやるといいかなと思います。

以上です。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

内田委員。

○4番（内田和彦君） 意見交換会定例化してやることも大事ですけども、あと今報告の面で紙だけじゃなくて、出口の部分ではどういう形というとあれなんですけども、報告会みたいな形を設けて直接市民の方の言った意見がこういうふうになってこうなっているんだよという形。形で見せるために報告会みたいな形、それだけだと愛着がもたないんですけど、いろいろ付け加えてそういう形でもやっていったらいいかなというのは。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） この議会報告会のあるべき姿は、本来は議員が例えば必要な資料の数字とか、資料のほうがどうなっているかというのは、事務局のほうに問い合わせはしますけれども、基本的には議会で資料とか、報告書とかはまとめる形にもっていくのが本来の議会の在り方だと思います。これはわたし議員になった頃からそういう話はしていると思うんです。ただなかなか事務局のほうの今回の報告書は委員長に聞きますけど、これはもとから事務局主導でまとめたのか、それとも委員長のほうである程度こういう文言をまとめた上でプリントに起こしてくださいというやり方でやったのか、そこを確認したいと思います。

○委員長（村田春樹君） 3人でまとめさせていただいたという形なんんですけども。

谷仲委員。

○13番（谷仲和雄君） 正副委員長と事務局交えてまとめた、そういう形。そのところですよね。本来議会主導でそういう形をつくっていけば事務局というのはほんとの事務作業というところになるので、そういう形であれば年複数回というのは負担というレベルにはならないのかと思います。あくまでも議会がこういうふうにやっていく、こういう文章で印刷に回すとか、その補助的な役割をするのが事務局であって、そのところをもう1回よく洗い直していくれば段々良くなっていくんじゃないかと思うんですね。

○委員長（村田春樹君） ありがとうございます。ほんとに今回議員の皆さん並びに事務局の方々には会場の設営だったりいろんなことでも大変お世話になりましたし、必ずしも議員だ

けでできあがったものではないというふうに感じておりますので、事務局の皆さま方大変ありがとうございました。感謝しかありません、ありがとうございます。そういったことで、しっかりと今後の報告会、意見交換会そういうものに関しても、これから色々なところで見直しをはかっていきながら前に進めるような議会ができればと思いますので、そういったこと委員の皆さまの意見を聞かせていただきありがとうございました。自分と副委員長と相談させていただきながら、まとめさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

以上で大丈夫ですかね。

[「発言する者なし」]

○副委員長（真家 功君） それでは以上で、議会活性化特別委員会を閉会といたします。
ご苦労さまでした。

午前10時57分 閉会